

第1学年〇組 外国語科学習指導案

日 時 令和5年〇月〇日 (〇) 第〇校時
 場 所 〇〇〇〇〇
 授業者 〇〇 〇〇
 A E T 〇〇 〇〇

1 単元名 Unit 9 Think Globally, Act Locally (NEW HORIZON English Course1)

2 単元について

本単元では友達の「将来の夢」をALTIに紹介するために相手についての情報をまとめ、自分の感想を交えてまとまりのある文章で書くことや話すことを目指している。題材はメグが目標としている自分の姉について、クラスでスピーチしている場面と国際協力・交流イベントに来たメグとカイトの会話の場面である。自分のことについて発表することは小学校で経験しているが、この単元を通して中学校で学習した三人称単数現在の用法に注意しながら、友達を紹介する文を作り、ペアで発表することを体験させてwant to…やtry to…の表現を身に付けさせる。また、ALTIに理解してもらえるように発信することを意識させて話題を広げ、事実や感想をまとまりのある文章で書くことができる力、聞き手に伝わるように工夫してまとまりのある内容を発表する力を養う。

3 生徒の実態について

本学年の生徒は、小学校の外国語を通してコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を培ってきた。中学校に進級してからは、小学校で歌やコミュニケーション活動を通して学んだことを、アルファベットと関連させて読んだり書いたりできるように復習を行った。しかし1学期中間テストの後、生徒からは「英語のテストは初めてでよくわからなかった」「単語や文を書くことが難しい」といった声を多く聞き、「思考・判断・表現」の分野でつまづいていると感じた。1学期期末テストの平均点は中間テストから大きく伸びたことから、自分の学習状況を把握し学習の進め方を工夫した生徒が多いと分かった。しかしながら2学期当初に実施したアンケートでは、書くことが苦手と答えた生徒が70.5%と高い状態であった。スペルが不安といった意見や文法が分からず書き方が分からないという意見が多かった。このような実態から、この単元の友達の「将来の夢」について英文を書かせる際には教師のモデルを見せてから、既習事項や中学校で新たに学んだ表現が正しく使われているかを確認し、お互いの文を読み合い改良しながら書く力を伸ばしたい。また、自校のALTIに友達の「将来の夢」を発表する目標を設定することで、主体的に話す活動に取り組ませたい。

4 単元の目標

ALTIに友達の「将来の夢」を紹介するために、第三者に関する事実やそれに対する自分の考え、感想などをまとまりのある文章で書いたり、話したりすることができる。

- ・不定詞の特徴や使い方を理解し、第三者に関する事実やそれに対する自分の考え、感想などを不定詞などを用いて書く技能を身に付けている。〈知識及び技能〉
- ・ALTIに友達の「将来の夢」を紹介するために、第三者に関する事実やそれに対する自分の考え、感想などについてまとまりのある文章を書いたり、話したりしている。〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・ALTIに友達の「将来の夢」を紹介するために、第三者に関する事実やそれに対する自分の考え、感想などについてまとまりのある文章を書いたり、話したりしようとしている。〈学びに向かう力、人間性等〉

5 単元の評価規準

(本単元における「話すこと【発表】」「書くこと」以外の領域については目標に向けての指導は行いが、本単元で記録に残す評価は行わない)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと【発表】		友達の将来の夢についてALTIに伝えるために自分の考え、感想など内容を整理し、聞き手に伝わるように工夫してまとまりのある内容を話している。	友達の将来の夢についてALTIに伝えるために自分の考え、感想など内容を整理し、聞き手に伝わるように工夫してまとまりのある内容を話そうとしている。

書くこと	〈知識〉 ①不定詞（名詞的用法）の特徴やきまりを理解している。 〈技能〉 ②友達の将来の夢について聞いたことや感じたことを不定詞（名詞的用法）などを用いて書く技能を身に付けている。	ALTIに友達の将来の夢について紹介するために、紹介する人に関する事実や自分の考え、感想などについてまとまりのある文章を書いている。	ALTIに友達の将来の夢について紹介するために紹介する人に関する事実や自分の考え、感想などについてまとまりのある文章を書こうとしている。
------	---	--	--

6 単元の指導と評価の計画(7時間扱い 本時2/7)

時	◆ねらい ○活動	評価			
		知・技	思・判・表	態	◎評価規準〈評価方法〉
1	◆将来、自分のしたいことや、しようとしていることなどについて説明する ○教科書の英文を通して不定詞の名詞的用法を理解する。 ○メグのスピーチを聞いてわかったことを整理しペアで共有する。 ○将来、自分のしたいことや、しようとしていることなどについて書く。				本単元において、第1時、また第3時から第6時まで目標に向けた指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
2	◆友達の「将来の夢」についてALTIに伝えるための文章を書く。 ○前時に書いた自分の将来したいことについてペアで伝え合う。 ○友達の「将来の夢」についてALTIで紹介する英文を書く。 ○文法の正しさの確認や、聞き手に伝えるための視点でお互いの英文を読む。 ○英文を正しく書き直す。		書	書	◎友達の「将来の夢」について、事実や自分の考え、感想などについてまとまりのある文章を書いている。／書こうとしている。 〈ワークシート・観察〉
3	◆したいことや、する必要のあることなどについてたずねたり答えたりすることができる。 ○教科書の英文を通して不定詞の名詞的用法が使われている疑問文を理解する。 ○教科書の絵を参考に場面に応じた文を書く。				
4	◆したいことや、する必要のあることなどについてたずねたり答えたりすることができる。 ○教科書の英文を通して、お互いにしたいことやする必要のあることについて名詞的用法を活用して対話する。 ○Mini Activityを通して既習事項を復習する。				
5	◆〈look+形容詞〉の用法を使って人やものの様子を説明する。 ○教科書の英文を通して〈look+形容詞〉の使い方について理解する。 ○教科書の絵やクラスメイトのジェスチャーを見て〈look+形容詞〉の用法を実際に使って会話する。				
6	◆Unit Activityを通して世界的問題や地域の問題についてのポスターをかく。 ○地域や世界の問題について考え、互いに伝え合う。 ○これまで学んできたことを踏まえ、問題解決のためにすべきことを書く。				
7	パフォーマンステスト ◆友達の「将来の夢」をALTIに発表しよう		発	発	◎友達の「将来の夢」について、聞き手に伝わるように工夫してまとまりのある内容を話している。〈観察〉 ◎友達の「将来の夢」について、聞き手に伝わるように工夫してまとまりのある内容を話そうとしている。〈観察〉

後日	ペーパーテスト	書			◎不定詞(名詞的用法)を用いた表現の特徴やきまりを理解している。 ◎友達の「将来の夢」について、簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。
----	---------	---	--	--	---

7 本時の展開

(1)目標 友達の「将来の夢」について、事実や自分の考え、感想などについてまとまりのある文章を書くことができる。

(2)展開

時間	学習活動	○教師の働きかけ	・指導上の留意点 ◎評価<評価方法>
導入 8分	1 Greetings 2 帯活動 英語の歌 3 前時の復習 ○グループで音読活動(教科書P89)させる。		・既習事項の内容であいさつする。 ・内容を振り返らせながら音読させる。
めあて：友達の「将来の夢」を聞いてALTに伝えるための文章を書こう			
展開 37分	4 本時の目標の確認 ○モデルとなる活動を見せる。 ALT: I like many kinds of food. I like cooking. I want to be a cook. I always try to cook on Sundays. JET: Hello. Do you know her? She is Yumi. She likes cooking, She wants to be a cook. She always tries to cook on Sundays. She has a nice dream. Do you think so? ○キーワードやキーフレーズを生徒に聞き取らせる。		・友達から伝えられたことを元に、紹介文を作ることを改めて確認する。 ・本時の活動に見通しを持たせる。 ・「聞き手に伝えるための工夫」「便利な表現」について、 <u>生徒の意見をひろ</u> う。(板書するor プロジェクターで示す)
	5 自分の将来の夢の作文をペアで伝えあう。 ○ワークシートに聞き取ったことをメモさせる。 ○お互いに伝えた内容を確認させる。		・机間巡視し、 <u>生徒が作った英文を紹介したり、文法の規則や言葉の働きに注目させたりする。</u> ・ <u>お互いの作文を交換し読み合っ</u> て参考になる表現を見つけさせる。
	6 友達の「将来の夢」についてALTに伝えるための文章を書く。 ○三人称単数現在形の文法について確認させる。 ○聞き手の興味がわくような表現を考えさせる。		◎友達の「将来の夢」について、事実や自分の考え、感想などについてまとまりのある文章を書いている。／書こうとしている。<ワークシート・観察>
	7 <u>お互いの作文を読んで表現の工夫を加える。</u> (3~4人グループ)		
	8 <u>友達の「将来の夢」を書き直す。</u>		
まとめ 5分	9 まとめ A 評価の英文 ・ This is Shota. Do you know him? He is my friend. He wants to be a math teacher. He is very smart. He always tries to study very hard. I want to be like him. Thank you. ・ This is Mika. She is my friend. She wants to be a nurse. Her mother is a nurse, too. She always tries to help other students. She is so kind. Don't you think so? Thank you.		
<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある文章を作るためには、事実と自分の考えや感想を加えるとよい。 ・人をひきつけられるような書き出しにするとよい。 			

8 板書計画

Today' s aim 友達の「将来の夢」を聞いてALTに伝えるための文章を書こう

作文で便利な表現

- ・
- ・
- ・
- ・

聞き手に伝わるための工夫

- ・
- ・
- ・
- ・

パワーポイントを映す

教員のモデルスピーチを文字化したもの

9 備考 在籍生徒数 ○名



About me and my friend



Class () Name ()

①友達に聞いてもらえるように「自分の将来の夢」について英語で書いてみよう。

~Why don't you use? 使ってみない?~

want to be a(an)~ ~になりたい in the future 将来に do my best ベストを尽くす

I'm not sure about~ ~についてはハッキリしていない ~,so I practice very hard. ~だ。なので私は一生懸命に練習します。

②ペアの「将来の夢」についての作文を聞き取って、分かったことをメモしよう。

必須メモ	自由メモ 出身小学校や、将来のために〇〇している等
ペアの名前 ()	
将来の夢 ()	

③メモをもとにノーラに聞いてもらう友達紹介の文を書きましょう。

~Why don't you use? 使ってみない?~
I respect him(her) 彼(彼女を)尊敬する do his(her) best 彼(彼女の)ベストを尽くす
相手に聞いてもらうための工夫
・
・
